

平成30年度 川崎市立日本民家園事業評価シート

■評価

つぎの3段階とする。

A: 目標を充分達成し成果を上げている

B: 目標を概ね達成している

C: 目標を達成しておらず改善が必要である

■今年度の重点目標

- ・山下家耐震補強工事实施
- ・園路整備実施
- ・企画展2本開催
- ・第2期指定管理への円滑な移行

「評価」欄

小文字：内部評価／大文字：外部評価

統計

項目	平成30年度結果	平成29年度実績	平成28年度実績	平成27年度実績
総入園者数	111,841人	116,772人	116,053人	118,887人
有料入園者数(有料率)	47,994人(42.9%)	52,122人(44.6%)	50,830人(43.8%)	56,422人(47.5%)
外国人入園者数	7,191人	6,342人	5,918人	5,378人
総入園料収入	18,636,800円	20,393,900円	19,890,660円	22,287,720円
歳出に占める歳入の割合 (ふるさと応援寄附金を含む)	16.48%	13.7% (50周年事業費を含めると13.2%)	14.10%	15.90%
WEBサイトアクセス数 (英語版)	640,151件 (47,426件)	775,221件 (49,442件)	727,262件 51,586件	818,303件 45,991件
学校体験・見学校数	192校	193校	196校	189校
炉端の会・民技会 会員数	炉端の会 264人 民技会 95人	炉端の会279人 民技会92人	炉端の会262人 民技会92人	炉端の会269人 民技会92人
伝統工芸館藍染体験参加者数 (伝統工芸館事業収入)	3,029人 (4,659,645円)	3,233人 (4,251,612円)	2,937人 4,142,372円	3,214人 4,603,338円

1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

(1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進

現状：25件の文化財建造物を移築復原し、長期計画を立てて補修工事を実施している他、日常的な維持管理業務として燻煙と清掃を行っている。総合防災事業については、消火設備・防犯設備のリニューアルが完成し、耐震補強工事が進行中である。資料の整理・研究活動については、建築分野では大岡實博士文庫の目録や民家園叢書の刊行を進めている。民俗分野では移築民家ごとの資料目録（調査報告）の完成を受け、引き続き暮らしと家をテーマに調査を実施、報告書の刊行を進めている。

実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成30年度年度計画(目標水準)	平成30年度年度実績	今後の課題	評価
①文化財建造物維持管理の推進	三澤家・岩澤家・広瀬家屋根葺き替え(完成まで)。 新主任技術者への技術・知識等継承(完了まで)。 その他文化財建造物の適切な保存管理の推進(破損箇所随時)。	山下家屋根部分修理(初年度分)。 広瀬家屋根葺き替え修理(完成まで)。 屋根ほか小破修繕(破損箇所随時)。 園内文化財建造物の国重要文化財指定に向けた取組(文化庁への成果報告)	・山下家屋根部分修理(初年度分完了) ・広瀬家屋根葺き替え修理・雨落溝整備(完成) ・犬走叩き、屋根(棟・雨漏り)修繕 ・園内建造物の修理報告書・目録等文化庁へ提出 ・耐震化、修理工事の10年計画文化庁へ提出	・水車小屋の度重なる故障への根本的対応の検討	A / a
②総合防災事業・耐震補強工事の推進	三澤家・山下家耐震補強工事(完成まで)。 太田家耐震補強設計(完了まで)。 菅原家耐震診断(完了まで)。	山下家耐震補強工事(初年度分)。 太田家耐震補強実施設計(完了まで)。 既存設備(防災・三澤免震)定期点検(各1回)。	・山下家耐震補強工事(初年度分完了) ・太田家耐震補強実施設計(完了) ・既存設備(防災・ITVカメラ・三澤家免震装置)各1回定期点検	・ITVカメラ・消防設備の機器更新	A / a
③[建築]収蔵資料の整理・調査研究の推進と成果の公表	大岡資料整理(調査ノート目録3刊行)。 民家園叢書継続刊行(鈴木家・三澤家耐震補強工事報告冊刊行)、および報道発表。	大岡資料整理(調査ノート目録3掲載予定資料の残り全て)。 民家園叢書鈴木家耐震補強工事報告(刊行まで)。	・大岡資料調査ノート目録3掲載予定資料の整理完了 ・民家園叢書鈴木家耐震補強工事報告刊行	・大岡資料整理(中性紙封筒への入れ替え、目録非掲載資料の整理方法の決定)	A / a
④[民俗]収蔵資料の整理・調査研究の推進と成果の公表	耐震補強工事棟保管民具の仮収蔵場所への移動(完了まで)。 「暮らしと家」調査(報告書年1冊刊行)。 教育普及活動を含む学芸成果の外部への発信、報道発表(年2回)。	山下家移動民具のリスト化、仮収蔵場所への移動(完了まで)。 「暮らしと家」調査実施(調査先未定、報告書刊行まで)。 ミュージアムエデュケーター連絡協議会にて学芸成果の報告(2回)。	・移動民具をリスト化し中野島小学校と虹ヶ丘小学校の空き教室へ移動(完了)。 ・登戸・吉澤石材店の開取り調査実施。ただし原稿が1冊まとめるだけの分量にならず、刊行は見送り。 ・鋸の目立て道具一式を受贈。常設展示室へ新収蔵資料紹介として展示。 ・神奈川県博物館協議会報に、自然系博物館との連携にかかる学芸成果を発表。	・移動した資料を学校でも活用可能な状態に整理する。 ・別の家の開取り調査を実施し、報告を合冊して刊行。	B / b
評定意見	文化財建造物の維持管理及び防災対策工事は、実情を踏まえて見直した中長期計画に基づき実施され、工事に伴う必要な措置も適切にとられている。今後はこの計画を着実に遂行するよう努めること。また、工事そのものも入園者等の文化財保護意識の涵養に資する展示の一環としてとらえ、工事の必要性と内容を周知する取り組みの継続・発展が望まれる。 建築資料の整理・調査は計画的に進められている。1次資料の長期安定的な保存及び利活用のための2次資料の作成に向けた検討が望まれる。 民俗資料を民家園外の学校施設で仮保管するに当たっては、適切な環境・体制での保管に留意するとともに、学校現場での活用にも配慮が望まれる。さらに、収蔵庫を整備して資料を民家園内で保管する本来の形の実現に向けて、継続的に検討・準備を進めること。				

(2) 展示の充実

現状：25の文化財建造物を野外展示し、それを補うために本館に常設展示室と企画展示室を設置している。各古民家では地域の民具や年中行事の展示を行っている他、囲炉裏での火焚きや生活用具の製作風景、さらには屋根の葺替えなども展示の一環としてとらえ、作業風景を見せるための工夫をしている。常設展示室では、園全体の導入として日本の民家建築の基本を展示している。企画展示室では、民俗や建築をテーマに年2回企画展を開催し、合わせて関連事業を実施している。展示に際しては解説に英文を併記している他、スマートフォンを利用した4カ国語音声ガイド(日英中韓)を導入し、外国人向けのサービスにも力を入れている。

実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成30年度年度計画(目標水準)	平成30年度年度実績	今後の課題	評価
①常設展示(古民家内展示含む)及び関連事業の充実	<p>音声ガイドの利用拡充および保守(毎年保守委託)。 古民家内展示整備(解説パネル16カ所、敷地図25カ所設置、主要民具解説キャプション35点)。 石造物解説板整備(13カ所)。 スタンプラリーのリニューアル(ハウス・シート・スタンプ完成まで)。 建造物解説の充実(古民家めぐり年24回、大規模工事ごとに見学会開催・解説パネル設置)。 さわれる展示手法の取り入れ(床公開時に民具体験実施)。</p>	<p>音声ガイド保守、利用方法広報(ダウンロード数5000件)。 主要民具解説キャプション設置(35点)。 石造物解説板整備(13カ所)。 古民家めぐり実施(24回)。 工事見学会実施(1回)。 工事における建築解説パネル設置(屋根葺き替え、耐震補強工事実施時)。 収集民具を利用したさわれる展示の実施(試験実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音声ガイド保守(委託)、園内解説板に音声ガイドの広報・QRコードを設置。ダウンロード数751件 ・主要民具解説キャプション設置(35点)。 ・石造物解説板整備(日本語・英語の原稿完成まで)。 ・古民家めぐり実施(24回)。 ・三澤家耐震工事完成報告会(8/3) ・屋根葺き替え見学会(2/2) ・山下家工事仮囲いに工事解説パネル設置。 ・蚕の飼育展示の実施(1か月の展示期間中に、蚕にさわれる展示解説を実施)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野外に設置している解説板の補修、材質の見直し、フォント等形式の統一。 ・さわれる展示の充実 	A / b
②企画展示および関連事業の充実	<p>民家博物館として、特性を活かした話題性のある企画展示開催(年2本)。 さわれる展示手法の取り入れ(子供向け展示の場合に「触れるコーナー」設置)。 企画展中長期計画策定(計画書作成まで)。</p>	<p>企画展示「民家の暮らしと生きもの」、「郷土料理と食卓(仮)」開催(図録刊行まで)。 企画展示室内に「さわれるコーナー」設置(各企画展ごと)。 一般向け企画展示解説(10回)。 子供向け企画展示解説(4回)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展示「民家の暮らしと生きもの」、「いただきますー食卓いまむかしー」の開催及び図録の発行。 ・企画展示室内での「さわれるコーナー(民家の生きものをのぞいてみよう!、きらいばしカルタ)」の設置。 ・一般向け展示解説(10回実施) ・子供向け展示解説(4回実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展示室内での展示解説に加え、園内の古民家内での解説実施。 ・職員のライブイベントに合わせた柔軟な計画変更のための企画のストック 	A / a
評定意見	<p>常設展示・企画展示及び関連事業は計画通り実施されている。 新収蔵品の紹介展示のほか、古民家での生業(養蚕)の展示を実施できた点は評価できる。今後こうした展示を維持・発展させるために、技術的ノウハウの習得・蓄積、使用する材料・道具の確保(外部調達・園内での栽培製作)等、中長期的な視点を持って進めることが望まれる。 民具を活用するなどした、古民家での暮らしの情景を理解・体験できる展示の実現に向けて、引き続き努力すること。 企画展示は、中期的な計画に基づきつつ複数の企画展の準備作業を並行的に進める、1つの展示を複数の学芸スタッフで担当する、企画のストックを用意しておく等により、担当職員の異動や長期的休業・休職等が生じて、企画の継続や差し替えに柔軟に対応できる体制等を整えることも検討するとよい。 音声ガイドは外国からの入園者にも有効であることから、ダウンロードの実績数ばかり見るのではなく、より活用されるようアプリケーションのダウンロードについての周知の工夫が望まれる。また、音声ガイドと従来型のスタッフによるツアーガイドのそれぞれの長所をふまえた棲み分けも、検討するとよい。</p>				

(3) 教育普及活動の充実

現状：教育普及活動として学習講座・体験講座等を実施、特に子供や親子向けの行事、当日自由参加型の行事に力を入れている。また施設の特長を活かし、古民家の旧所在地と連携した事業にも力を入れ、各地の芸能公演や物産展などを行っている。この他、学校との連携を進め、小学生の体験学習や中学生の職業体験の受け入れを行っている。また、炉端の会・民具製作技術保存会は民家園の教育普及活動を支え、協力者会議を開催して事業運営の改善を進めている。指定管理者は伝統工芸館の充実を進めている他、さまざまな自主事業を行っている。

実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成30年度年度計画(目標水準)	平成30年度年度実績	今後の課題	評価
① 各種事業(講座・ワークショップ・催事)の充実	子供向けワークショップの充実(年平均6回)。 当日受付型・自由参加型事業の充実(年平均25回)。 生田緑地他館等との連携事業の充実(年平均2回)。	子供・親子向け行事・講座(6回) ミニワークショップ(6回) 当日参加型体験事業(20回実施) 科学館との連携行事(3回)。 他館周年事業に伴う行事協力打ち合わせ(各1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・子供向け講座(古民家探検隊、糸と糸車、ハチ)3回 ・親子体験講座 3回(わら・機、竹) ・ミニワークショップ(こどもまつり 2種×4日間8回、いただきます 2種2回) ・当日参加型体験事業 26回(昔の灯り体験、水で遊ぼう、蚊帳ごろ寝体験、むかしの仕事体験、いただきます展ワークショップ、小正月飾り作り体験、大工体験、草バッタ、民具着用ほか) ・科学館との連携講座(七夕、月見)、サマーミュージアム(8/19実施) ・科学館・岡本太郎美術館に周年事業に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日参加型事業・体験の充実。 ・体験事業等の材料確保(ニフトコ、シュロの葉、クワ) 	A / a
② 旧所在地交流事業の充実	南砺市、甲州市、福島市との交流事業の充実(年平均各1回)。 旧所在地交流事業の拡充(九十九里町など)。	南砺市・甲州市・福島市との交流事業実施(計3回)。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産 五箇山がやってくる(10/20・21) ・遊びにこらんしょ、福島市(11/24・25) ・ころ柿展示、桃の花配布(甲州市) ・マグカル推進事業(3/23、24 岩手県紫波町、甲州市) ・伊那市視察(伊那部宿旧井澤家住宅との広報資料交換、今後の展開への打ち合わせ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・南砺市及び富山県との連携強化。 ・実現にむけての課題整理(伊那市) 	A / a

<p>③学校との連携の充実</p>	<p>学校利用増加(年平均5校増)。多摩区三大学(専修大・明治大・日本女子大)との連携推進(留学生モニター毎年3回実施)。見学学校用教材増補(完了まで)。インターナショナルスクール向け教材作成(完成まで)。</p>	<p>学校利用増(206校)。夏休み行事案内発送(近隣4校)。見学学校用教材増補(完成まで)。幼稚園・保育園向け教材作成(着手)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校体験・見学192校(うち、外国人学校・インターナショナルスクール 13校) ・近隣学校への行事案内(3回×近隣校5校) ・インターナショナルスクール向け利用案内作成、ホームページへの掲載 ・インターナショナルスクール体験の試行 ・明治大学田中研究室による3Dスキャナーの実施・報告会(8/19・1/4・3/15) ・大学生まちづくりコンテスト受賞チームによるモデル事業の受け入れ(1/4 着付け体験+プロカメラマンによる写真撮影) ・協力校連携(中野島小・虹ヶ丘小の郷土資料室整備) 	<p>・学校用教材増補については、学習指導要領の改訂による園利用の変化を見据えた内容への検討を要することから、31～32年度の課題として検討を継続する。</p>	<p>B / b</p>
<p>④市民活動団体との連携の充実</p>	<p>炉端の会、民技会との連携の強化および両者との協力者会議による運営改善(協力者会議年1回)。昔話、お茶会等の団体との連携の充実(昔話30回、お茶会2回)。</p>	<p>民技会への活動支援(会計見直し)。運営改善した上での協力者会議開催(2回)。昔話(30回)。お茶会(2回)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・炉端の会マニュアル類の整理及び周知、会員情報の整理、ボランティア講座の内容見直し。 ・協力者会議開催(1回) ・昔話(30回) ・0歳児からのむかしばなし(2回) ・お茶会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・低年齢向けむかし話の定例的開催 ・炉端の会・民技会と連携した体験の定例化 	<p>B / b</p>
<p>⑤伝統工芸館・自主事業の充実</p>	<p>本藍の継続的使用のため複数スタッフの技術向上(研修機会確保)。自主事業の充実(年5回以上)。</p>	<p>本藍技術の研修受講(1回)。大和藍による新商品開発(2点)。ミニ展示開催(5回)。絞り染め・型染め講座開催(5回)。ワークショップ(2回以上)。</p>	<p>絞り染め・型染め講座 5回開催 ミニ展示7回開催 ワークショップ5回(ストール染め、親子で藍染め鯉のぼり、生葉染めなど) 研修受講(ミヅロウによるろうけつ染め10/22) ・マグカル事業の一環として外国人向けストール染め講座を実施</p>	<p>人気の高い鯉のぼりのワークショップを大人向けにも実施。 材料費高騰を踏まえた適正価格の設定</p>	<p>A / a</p>
<p>評定意見</p>	<p>講座・ワークショップ等は、当初計画以上の実績を挙げており、高く評価される。古民家旧所在地との交流事業も定着し、拡充に向けた取り組みも行われ、今後継続・充実していくことが期待される。入園利用する学校団体とその利用形態の多様化が進んでおり、それへの対応の充実や、さらなる利用の拡大に向けた取り組みの継続が望まれる。来園する主たる学校団体の小学校では、学習指導要領の改訂に伴い、民家園を利用した学習の中心である第3学年社会科「地域の昔のくらし・道具」の単元が平成31(令和元)年度限りでなくなることから、現在の利用状況を維持するためにも移行措置期間である同年度中に、学校・川崎市立小学校社会科教育研究会・教育委員会の担当部署等と連携して、令和2年度本格施行の新学習指導要領第4学年「県内の文化財・年中行事」等の単元に対応可能な、新たな教育普及事業の開発や学習教材の制作等を早急に進めること。市民活動団体との連携は、従来どおり行われており、その水準を概ね維持している。新規事業の開拓に当たっては、予め法規制のクリアや、目的効果・実施方法について、見通しを持って立案することが望まれる。 伝統工芸館の事業については、これまでのこ入れの効果が表れたものであるか、計画を上回る活動が展開され、活動の活性化が認められる。</p>				

2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

(1) 博物館経営(ミュージアム・マネージメント)の整備・充実

現状：平成25年度より指定管理者制度を導入し(5年毎に更新)、維持管理(文化財を除く)・広報業務を指定管理者が担っている。市の職員、指定管理者の職員、いずれも資質向上のため各種研修への参加を促している。また、来園者数・入園料収入向上を目標に、リピーター確保のための工夫を重ねている。危機管理については各種防災訓練を実施、危機管理マニュアルを随時更新している。

実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成30年度年度計画(目標水準)	平成30年度年度実績	今後の課題	評価
①運営体制・研修等の充実	運営の充実につながる次期指定管理の準備と円滑な移行(移行完了まで)。研修機会の継続確保(市職員年1回以上)。事業評価の実施と活用(毎年実施・公表)。市専門職員の確保(民俗1名)。	指定管理2期目への円滑な移行(移行完了まで)。庁内研修・外部の専門研修・勉強会への参加(市職員1回以上)。園内研修実施(職員の異動・採用・交代に伴い随時)。事業評価の実施と活用(30年度分実施、29年度分公表)。	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理2期目に移行完了。 常勤・非常勤とも各自1回以上研修参加。 新規職員に対し園内研修実施。 学芸員の育児休業に伴い、代替職員採用。 事業評価の実施と活用(30年度実施・29年度公表) 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理3期目に向けた仕様書の検討。 継続的な研修の実施による職員の資質向上。 職員のライフイベントに対応可能な体制の構築 	A / a
②入園者数・入園料収入等の確保	入園者数増(年間平均130,000人)。有料入園者増(年平均60,000人)。年間パスポートの増によるリピーターの拡大(年平均5,500人)。外国人入園者増(年平均6,500人)。	総入園者数増(123,000人)。有料入園者数増(55,000人)。年パス利用者数増(4,500人)。外国人入園者数増(6,100人)。	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと応援寄附金制度導入(実績637,581円)。 年パスキャンペーン(10月～11月、58枚売上) 総入園者数(111,841人) 有料入園者数(47,994人) 年パス利用者(延べ3,151人) 外国人入園者数(7,191人) 	<ul style="list-style-type: none"> 東急及び小田急などの広報媒体の活用による広報の強化。 ふるさと応援寄附金制度のさらなる広報。 外国人の誘致対応強化 	B / b
③危機管理への構えと対応	危機管理マニュアルの継続的増補、職員への徹底(毎年項目見直し、読み合わせ)。来園者と文化財の安全確保、案内等質の高い警備の実施(マニュアル作成)。防災訓練の実施(毎年4回)。	警備員への研修(年1回)。防災訓練実施(年4回)。緑地全体での災害訓練実施(机上訓練まで)。園路外周の柵を耐久性ある材料へ見直し(材料選定まで)。	川崎市業務継続計画の見直し。危機管理マニュアルの増補、防災訓練実施(12/11、1/30、3/6)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人来園者の避難誘導。 避難経路の検討・表示の作成 園路排水整備計画に沿った園内手すり・柵などの全体計画の作成 	B / b
評定意見	<p>指定管理者の交代、市職員の比較的規模の大きな異動(事務局注：正規職員の半数が異動)があったが、概ね順調に移行できた点は良かった。スタッフの入れ替わりや長期休業により、博物館活動への影響が極力生じないような体制作りと、適切な時期に各種の研修(一般研修・博物館向きの専門研修)の実施、外部団体による研修への積極的な参加等、職員の資質向上に引き続き努めることが望まれる。</p> <p>園路の整備は、付帯する施設設備とともに、入園者の安全・利便性向上のほか、園内の美観や施設管理面でも重要になることから、全体的な計画の下で引き続き実施すること。</p> <p>防災訓練は、文化財建造物の保護及び入園者の安全・安心に資する重要なものであることから、確実に実施して不時の災害に備えること。なお、実施時期や災害の想定等も適宜考慮して、職員等の災害対応力の向上のほか、危機管理マニュアルの増補、他機関との連携の円滑化等に資するようにすること。</p> <p>入園者数は、例年並みの人数は得られたが、気象条件を考慮しても目標人数には達しなかった。入園者増や年間パスポートの活用によるリピート率の向上に向けた取り組みを継続すること。ふるさと応援寄附金制度の広報により、寄附金を獲得して古民家保存のための資金の上積みを図るとともに、予算要求の積極的材料とするなど、古民家の保存活動がより良く行えるようにしていくことが望まれる。</p>				

(2) 魅力発信と広報の強化

現状： インターネットによる広報、地域団体・企業と連携した広報を展開している。また外国人誘致にも力を入れ、英語版のWEBサイトを設けている他、リーフレットは12カ国語(日・英・中繁・中簡・韓・仏・独・スペイン・ポルトガル・タガログ・タイ・ベトナム)に対応している。また、全ての案内板に英文を、一部の案内板は英語・中国語・韓国語を併記している。

実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成30年度年度計画(目標水準)	平成30年度年度実績	今後の課題	評価
① 民家園・生田緑地の魅力発信	民家園・生田緑地の効果的情報発信。オリンピックパラリンピックに向けた広報の充実(広報の工夫・強化と入園者増)。生田緑地他施設・他局・観光協会・地元商店会・神奈川県等と連携した広報および連携先の開拓。優待サービスの効果的な広報と利用促進(利用者増)。来園者ニーズ把握方法の見直し(見直し案作成・実施)。	新指定管理者の関連企業のルートを使った広報の実施(東急沿線等)アンケートの有効サンプル数向上(アンケートキャンペーンの定期的実施、リピーターである年間パスポート利用者へのアンケート実施)	<ul style="list-style-type: none"> 東急電鉄沿線、小田急駅構内へのポスター掲示(指定管理者協力企業の活用) 多摩区商店街連合会へのポスター掲示依頼 神奈川県と連携した広報活動(県のたより、県広報テレビ番組・ラジオ番組) イベント時のフォトスポット設置(五箇山、獅子頭、ひよっこ・おかめ+門松、ワラジシ、さくら壺花) 優待サービス利用者アンケート実施(3館合同で実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 和傘の活用及びメンテナンス等魅力発信ツールの充実 計画的な広報 年パス利用者アンケート実施方法の検討 小田急電鉄との広報面での連携強化 	B / b
② 一般向け広報とサービスの充実	広報の充実(駅貼り・車内貼り・街路灯フラッグ実施)。WEBサイトの充実(アクセス数年平均830,000)。SNSを活用した広報(投稿月平均1回)。	SNSを活用した広報の実施(公式ツイッター運用開始)。公式サイトをウェブアクセシビリティJIS X 8341-3:2016の適合レベルAAに準拠させたリニューアル(31年3月までに完了)。	<ul style="list-style-type: none"> 公式ツイッター開始(ツイート200回、フォロワー419人)。 ウェブアクセシビリティ準拠にむけたホームページ改修着手(31年5月完了見込み) 	<ul style="list-style-type: none"> ツイッターの反応の分析を通じたニーズの把握。 アンケートの回答に基づいた「よくある質問」の増補。 計画的な行事広報 	B / b
③ 外国人向け広報とサービスの充実	多言語音声ガイドの周知による魅力向上(ダウンロード数の国別集計実施)。音声ガイドの言語拡充(1カ国語)。英語版WEBサイトの充実(アクセス数年平均55,000)。	伝統工芸館における外国人対応の充実(リーフレット作成、外国人体験コースの設定)英語ウェブサイトのコンテンツ充実(PDFリーフレットの改訂、外国人学校に対する注意事項掲載)	<ul style="list-style-type: none"> 伝統工芸館への藍染め英文解説の設置、日英併記リーフレットの作成、外国人特別体験の試行。 台風に伴い、英文ツイッターで情報提供。 外国人学校向け注意事項のホームページ掲載。 神奈川県及び市によるインバウンド誘客事業(ツアー造作者の招聘、インフルエンサー招聘事業)の受け入れ(マレーシア、台湾、インドネシア、中国、ベトナム、タイ等) 音声ガイドダウンロード数の国別集計実施総計751(上位:日本:578、中国35、アメリカ合衆国39、イギリス6) 	<ul style="list-style-type: none"> ムスリムへの対応(祈祷場所の提供等)。 即時性のある外国人向け情報発信(英文Twitterでの年中行事、体験など) イラストメインの見学の注意喚起リーフレット等の作成(英語圏以外の外国人へも伝わりやすい内容で作成) 藍染め体験の申し込みの電子化(外国人でも予約しやすい環境の整備) 	A / a
評定意見	<p>広報活動には、指定管理者の企業ルートの活用や、外部機関・団体との連携、ソーシャルネットワークシステムの活用等を通して、より実効性のあるものにするとともに、入園者・利用者・市民のニーズの把握にも努めること。広報にあたっては、来園したくなるような情報を速報性を持って提供したり、ウェブサイト上で提供する各種コンテンツの充実が引き続き望まれる。</p> <p>簡易調査では多くの外国からの入園者が増加しており、外国人のニーズの把握、適確な情報提供を推進するとともに、国内ではマイナーな言語圏・文化圏からの入園者に対しても、必要な情報等が提供できるような取り組みも期待される。</p>				

(3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

現状： 来園者サービス施設として救護室や授乳スペース等を整備、ベンチやテーブル等のリニューアルも進めている。敷地内の環境は展示の一環として整備を進め、民家の旧所在地に合わせた植栽や、景観にふさわしい案内板の設置を行っている。また、バリアフリー化として古民家の敷居にスロープを用意、園路についても手すりの設置や一部土舗装化など対応を進めている。この他、来園者へのサービス向上のため、ショップの充実と窓口業務の改善に努めている。					
実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成30年度年度計画(目標水準)	平成30年度年度実績	今後の課題	評価
①来園者サービス施設の充実、快適性の向上	<p>窓口・ショップの充実(繁忙期人員増)。 新しい休憩施設等サービス向上に向けた取組の推進(実施に向けての設計等)。 山下家耐震工事中の飲食提供業務の確保(実施まで)。 船越の舞台客席改修(完成まで)。 休憩スペース改修(露天の全ベンチ改修)。 継続的な商品開発(毎年2点)。</p>	<p>炉端の会・民技会と連携した商品販売(30点)。 ベンチ改修(2カ所)。 本館外壁改修(設計まで)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そば屋休業に伴い、団子屋で弁当の販売開始。 ・大規模催事時にキッチンカーの導入。 ・ショップの取り扱い商品のリニューアル、広瀬家苔販売 ・ベンチ改修(作田家、広瀬家) ・本館外壁改修実施設計 ・猛暑期間の休憩所として旧山下家住宅を解放 ・園内資材の見直し・更新(カラーコーン、散水用ホース、バケツなど) ・障害者外出支援サービス事業者からの園内バリアフリー方策のヒアリング実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・催事の際の飲食提供業務の確保 ・奥門障害者用トイレの改修 ・三澤家スロープの新調 ・コインロッカーの更新 ・団体取り扱い等のわかりやすい案内 	B / a
②環境整備による安全性・快適性の向上	<p>園路整備の効果的な推進(園路の全泥濘箇所)。 安全に配慮した危険箇所への対応(全急坂・階段への手すりの整備等)。</p>	<p>園路整備実施(緊急危険範囲) 園路・排水整備(計画作成まで)。 危険箇所への対応(劣化箇所等随時)。 危険箇所確認の定期点検化(年1回)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急危険範囲園路整備(船越～蚕影山階段改修、蚕影山前の段差解消、蚕影山～奥門までのスロープ路改修、宿場の村園路改修・土留め設置) ・園路・排水整備計画作成 ・危険箇所への対応 ・三澤家住宅西側手すり改修、蚕影山前手すり増設 ・園内危険箇所点検(年1回) ・台風後の倒木、落枝の点検、除去 ・船越の舞台奈落石垣安全対策工事 ・高倉周辺整備調査検討委託 ・砂利、竹チップ敷設による泥濘の解消 ・障害者差別解消法に基づく園内点検の実施 ・色調の調和を意識したカラーコーン、ホースリール等更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・園路整備時の導線確保 ・清宮家周辺急坂への柵設置 ・排水路の整備 ・園内バリアフリー環境の向上(石畳部分の車いす対策等) 	A / a

<p>③博物館にふさわしい植栽の整備</p>	<p>植栽管理の適切な実施(必要に応じ随時)。 危険木対策(発見次第随時)。 古民家の旧所在地に合わせた植栽整備(記念樹の植樹と育成)。</p>	<p>下草刈り実施(実施箇所決定)。 植栽整備計画策定(案作成まで)。 枝卸し・草刈・柵補修等実施(必要に応じ随時)。 民家園内の危険木管理(計画作成まで)。 緑地内の民家園関係箇所における危険木の長期的伐採計画作成(整備事務所と協議まで)。 花木植樹(5箇所)。</p>	<p>・下草刈り(北村家前斜面) ・植栽整備計画基本的な考え方で作成 ・枝おろし、草刈、柵補修等実施 ・危険木管理計画作成 ・生田緑地自然会議で危険木管理計画について説明。 ・花木植樹(井岡家脇、佐治家庭、水車小屋斜面、広瀬家、木小屋下斜面、三澤家周辺)</p>	<p>・園内除草の徹底 ・閑散期の集客を目的とした花木の植樹。 ・危険木管理に対する理解促進</p>	<p>A / a</p>
<p>評定意見</p>	<p>入園者に対する休憩施設、飲食提供機会の整備等、サービスの充実に向けて更なる工夫が期待される。 環境整備を細かく行い、施設改修に当たって利用者の立場に立った専門家の意見を求めた点は評価できる。引き続き文化財建造物及び入園者にとっての危険の除去、安全性・快適性の向上、園内景観・美観への配慮をもとに環境整備計画を立て、実行することが期待される。 植栽整備も適切に行われているが、美観・修景だけでなく、古民家保存に悪影響を与える植物の除去、古民家での生活・生業の理解の助けとなり、生業・年中行事等の展示の材料を採取できるような、くらしに結びついた植栽についても計画的に進めること。また、園内での植物観察にも役立つような情報提供の工夫も望まれる。</p>				